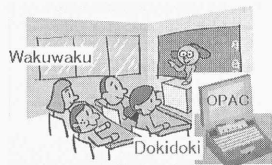


附属図書館すてき企画

●新入生図書館オリエンテーション●



来て、見て、使って

新入生の皆さんをお迎えして、図書館の利用方法や図書・雑誌の検索方法をお知らせします。図書館を大いに活用してキャンパス・ライフにお役立てください。

第一部、第二部それぞれ同じ内容でも回すつ開催しますので、ご都合のいい時においでください。

第一部 附属図書館の利用案内  
 日時：下表の1の時間帯  
 場所：附属図書館3階A Vホール  
 内容：  
 1. 附属図書館の設備の案内  
 2. 利用証・貸出・返却・予約・更新等の利用方法の説明  
 3. カード目録とOPACについて

第二部 OPAC(資料検索端末)の使い方  
 日時：下表の2の時間帯  
 場所：附属図書館1階 カウンター前  
 内容：  
 OPACの使用法説明と実習

\*OPAC(オーバック)は学内の図書や雑誌を検索するシステムです。

日程表	4/21(月)	4/22(火)	4/23(水)	5/14(水)	5/15(木)	5/16(金)
12:15~12:45	① 利用案内	② OPAC	① 利用案内	② OPAC	① 利用案内	② OPAC
15:00~15:30	② OPAC	① 利用案内	② OPAC	① 利用案内	② OPAC	① 利用案内

参加は自由  
 事前の申し込みは不要です。  
 どなたでもご都合のよい時にご参加ください。  
 新入生以外の方でも参加できます。

お問い合わせ先 附属図書館 参考調査掛 (075-753-2636)  
 E-mail: tuzuki@kui.l.b.kyoto-u.ac.jp

1997年春 京都大学附属図書館

この講座の開催を知ったのは、館内に掲示したポスターを見てという方が最も多かったのですが、今回初めてネットニュースやインターネットホームページ等の電子媒体でのお知らせも試みました。今後とも、普段図書館に来ておられない方にも広くお知らせしていきたいと思っています。

受講して役に立った内容としては、雑誌文献の探し方が最も多く234名でした。他に、図書の探し方、図書・雑誌以外の資料の探し方、相互利用の方法がそれぞれ同じくらいの方が役に立ったとされています。

講座の実施時間帯はほとんどの方(90.0%)がちょうどよいとされています。講座の長さは、適当(71.1%)、開催の時期はこのままでよい(63.6%)という意見がほとんどでしたが、実施時期をもっと前に、春から夏休み前に持ってきてほしいという意見もありました。次年度以降の実施計画をたてる際の参考にしたいと思います。

他にどのような講座を希望するかについては、OPAC、CD-ROM、インターネットのような電子関連の機器を使った検索の講座、実習形式の講座、ジャンル別のより詳細な文献収集講座等への希望がありました。

その他、図書館に対する要望もたくさん書かれていました。それぞれ検討して今後の参考にしていきたいと考えています。

(参考調査掛)



■CD-ROM ネットワークサーバシステムに PsycLIT(心理学行動科学文献情報)追加



標記 CD-ROM データベースの吉田地区へのネットワーク提供を平成9年1月から開始しました(本号「PsycLITのネットワーク利用について」もご覧ください)。

【利用法】

申請

・附属図書館⑦カウンター(参考調査)、文学部図書室(哲・文)、教育学部図書室および総合人間学部図書館に備えてある「利用申請願」を、附属図書館参考調査掛まで学内便等で提出してください(申請時には電子メールアドレスをお知らせください)。折り返し電子メールで、接続先 IP アドレス、利用のための User-ID および Password を通知いたします。

検索ソフト

・専用検索ソフト(Macintosh 用、Windows 用など)は、KUINS の anonymous ftp などにより入手してインストールしてください。telnet による利用(検索ソフト不要)及び internet(www)からの検索も可能です。

internet からの接続は附属図書館のホームページから、「CD-ROM 検索」のアイコンをクリックすると検索が開始できます。ただし、User-ID と Password は必要になりますのでご注意ください。

附属図書館からの利用

・学部生など利用登録者以外の方も、附属図書館1Fの専用クライアント(医学情報 Medline 等と兼用)で検索できます。

(参考調査掛)



■“access.txt—文献調査・利用ガイド(第1版)”の刊行を計画



「access.txt—文献調査・利用ガイド」(第1版)を刊行します。昨年度末に発行した beta Version に、今年度新たに受けた参考質問とその回答を追加したもので、全体の構成は以下に記しますように第一部と第二部にわかれています。

第一部「文献の探索・発見・入手」では、京大での図書・雑誌の探し方について、OPAC 端末、目録カードの使用法を説明しています。

第二部「様々な学術情報へのアクセス」では、論

文等を探す情報源（文献目録、CD-ROM、internet 上の URL アドレスなど）について紹介しています。  
(参考調査掛)

## 新入生オリエンテーション開催のご案内

まもなく4月、新入生のみなさんをお迎えして、図書館の利用方法をお知らせし、大いに利用していただくこと、オリエンテーションを下記の日程で開催することになりました。図書館の建物内の設備やいろいろなサービスを知っていただき、キャンパス・ライフに役立てていただきたいと思います。第一部、第二部それぞれ同じ内容で、三日間6回ずつ開催しますので、ご都合のいい時においでください。

(第一部) 附属図書館の利用案内

日時：下表の①の時間帯

場所：附属図書館3階AVホール

内容：1. 附属図書館の設備の案内  
2. 各種サービス内容の説明  
3. カード目録とOPACについて

(第二部)

日時：下表の②の時間帯

場所：附属図書館1階 カウンター前

内容：OPAC/TSS の使用法説明と実習

	4/21(月)	4/22(火)	4/23(水)	5/14(水)	5/15(木)	5/16(金)
12:15~12:45	①	②	①	②	①	②
15:00~15:30	②	①	②	①	②	①

(参考調査掛)

## 図書館利用証と学生証の一元化について

図書館業務における事務改善合理化事項のうち、重要事項として事務機構改善検討委員会報告書で指摘していた図書館利用証の一元化については、平成8年1月に附属図書館館長から教務事務電算管理運営委員会に、図書館利用証と学生証の機能面での統合についての検討を依頼し、その後関連事務部門間でも磁気カード化を含めて実現に向けて検討を行ってきました。

その結果、平成9年度以降の新入学部生と大学院生について、現行学生証のレイアウト変更を行い利

用証番号を印刷することで一元化を実現することとなりました。

このことにより、事務改善合理化の実現とともに利用者は学生証だけで入館や貸出ができることとなります。

なお、現在は附属図書館と総合人間学部図書館の入館と貸出し、理学部中央図書室での貸出しだけに対応していますが、平成10年1月の図書館業務用電子計算機システム更新後は、このカードで利用可能な図書館(室)が増える予定です。(資料運用掛)

### 平成8年度大型コレクション「古地図及び地理学文献コレクション」 (室賀コレクション) を購入

平成8年度文部省に標記図書資料(大型コレクション)の購入費を要求いたしましたところ承認されました。

この室賀コレクションは、元京都帝国大学文学部

助教授で、地理学史の研究者であった故室賀信夫氏(1907-1982)が収集した、地理学史・地図史分野の国内有数の文献群です。

古地図511点、和本199点、洋書285点、その他2